

令和元年度 第4回三豊市環境審議会

1 日時 令和元年12月25日(水) 13:30~15:30

2 場所 三豊市危機管理センター2階 202会議室

3 出席者

(出席委員 13名)

- ・ 詫間 政司 三豊市議会議長
- ・ 岩田 秀樹 市民建設常任委員長
- ・ 合田 順一 三豊市環境アドバイザー
- ・ 細川 芳樹 元小学校教師(理科)
- ・ 藤川 勇 元県職員(環境)
- ・ 平尾 茂之 香川県西讃保健福祉事務所長
- ・ 藤川 仁 元三豊市環境部長
- ・ 藤川 猛 三豊市地区衛生組織連合会会長
- ・ 佐子 照雄 三豊市自治会連合会会長
- ・ 新延 修 三豊市商工会会長
- ・ 堀江 博 三豊市農業委員会会長
- ・ 藤川 豊明 三豊市社会福祉協議会事務局長
- ・ 太平 淳子 三豊市消費者友の会前会長

(事務局 4名)

- ・ 小野 守一 市民環境部部長
- ・ 関 賢一 環境衛生課課長
- ・ 成行 秀紀 環境衛生課課長補佐
- ・ 安藤 裕基 環境衛生課副主任

(委託業者 3名)

- ・ 井上 慎一 復建調査設計(株)
- ・ 石田 慎悟 復建調査設計(株)
- ・ 阿南 大樹 復建調査設計(株)

4 欠席委員(1名)

- ・ 浅野 博海 詫間漁業協同組合連合会会長

5 議事等

- 第3回三豊市環境審議会における意見対応結果
- 三豊市第2次環境基本計画・三豊市第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）について

6 配付資料

資料1： 第3回三豊市環境審議会における意見対応結果

資料2： 望ましい環境像（案）

【事前配布】三豊市第2次環境基本計画・三豊市第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）

7 会議録署名委員

- ・ 佐子 照雄 委員
- ・ 新延 修 委員

事務局

ただ今より「第4回三豊市環境審議会」を開催いたします。開催にあたりまして、合田会長よりご挨拶申し上げます。

合田会長

本日は年の瀬を迎えて、皆さま何かとお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

さて、前回にも申し上げましたが、地球温暖化問題がテレビや新聞など、マスコミで大きく取り扱われておる昨今であります。それだけ皆さんの関心が高くなっているのかなと思っております。

昨日の新聞によりますと、気象庁の発表として、今年の気温が歴代最高で、平年気温が0.92度上昇したというような記事が載っております。また、ご存知のとおり台風が29個発生し、うち15個が日本に接近、5個が上陸しております。皆さんの記憶にも残っていると思いますが、千葉に上陸して大規模停電を引き起こした15号台風や、東日本を中心に大雨被害をもたらした最大風速が40メートルを超えた19号台風というような、非常に強大な台風が被害をもたらしました。これらは温暖化の進行に伴って台風が巨大化したり、異常高温が発生しております。ヨーロッパでは熱波により、最高気温を更新したというような記事もございます。

先日はスペインのマドリードでCOP25が開催され、日本の石炭火力発電所に係る日本の対応に批判が出されており、日本は大きな宿題をもたらしたと私は感じております。

本日は国際的な会ではありませんが、同じような趣旨で、第2次の環境基本計画ならびに第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）が議題となっております。三豊市でもしっかりとした議論を行い、より良い計画をつくっていく使命が課せられていると思っております。

委員の皆様の活発なご議論をいただけますようお願いしてご挨拶とさせていただきます。

事務局

本日は委員14名中13名のご出席をいただいております、三豊市環境審議会条例第7条第2項の規定により出席者数が過半数を超えていることから会議が成立していることをご報告いたします。

次に議題に入る前に、資料の確認をお願いいたします。

審議会次第のほか、2つの資料をお配りしています。

また、本日の会で審議いただく内容が多いため、委員の皆様には事前に、三豊市第2次環境基本計画および三豊市第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）の冊子を配布させていただきました。

	<p>不足資料がありましたらお申し出いただけたらと思います。</p> <p>なければ次へ行かせていただきます。</p> <p>それでは、環境審議会条例第7条に従いまして、合田会長に会議の議長をお願いいたします。</p>
合田会長	<p>皆さんよろしく願いいたします。</p> <p>それでは議題に入る前に、議事録署名人を2人指名させていただきます。</p> <p>今回は佐子委員さんと新延委員さんをお願いしますのでよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議案第1号「第3回三豊市環境審議会における意見対応結果」を議題とします。事務局、説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>前回もご説明させていただいたとおり、市長からの諮問を受け、本年度に策定いたします「三豊市第2次環境基本計画」及び「三豊市第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」につきまして、計画の立案等を復建調査設計(株)に委託しております。</p> <p>つきましては、三豊市審議会条例第8条「審議会は、特に必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、議事に関する説明又は意見を聞くことができる。」とありますので、審議会条例第8条の規程に基づき委託業者の復建調査設計(株)を本日出席させ、各議案について説明させることをご了承願います。</p>
合田会長	<p>今、事務局から話がありましたが、復建調査設計(株)をこの審議会に出席させ説明させることについて了承してもよろしいでしょうか？</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
合田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>異議なしと認め、復建調査設計(株)から説明させることを了承します。それでは引き続き事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議案第1号「第3回三豊市環境審議会における意見対応結果について」を復建調査設計(株)の担当者から説明をお願いします。</p>
委託業者	<p>資料1は、前回の審議会では委員様から挙がりました意見に対する対応</p>

	<p>方針を一覧に整理しています。当該資料はご報告に近いものがありますので、そういった形でご認識いただければと思います。</p> <p>意見番号1については海洋に関する内容を含めた施策を計画本編の第3章に記載しております。</p> <p>意見番号2についてはご意見を踏まえて、合田会長、藤川副会長、事務局で協議を行い、3つの案の中から「みんなで一緒に未来につなぐ美しい自然と快適な暮らしを大切にするまち みとよ」を望ましい環境像と設定しております。説明につきましては、本計画の7ページに記載しており、後ほど説明させていただきます。</p> <p>意見番号3については各環境目標に対して複数の評価指標を設定しております。本計画の第5章に記載しており、後ほど説明させていただきます。</p> <p>意見番号4については“再生可能エネルギーによる「創」・「省」・「蓄」の推進”に表現を修正しました。</p> <p>意見番号5については市民の方々が理解しやすいように“熱中症”という具体例を挙げて表現を改めています。</p> <p>意見番号6については市民・事業者が親しみを持てる計画とすることを念頭に検討したため、文量の多い当該意見事項は別資料に記載する予定としております。</p> <p>資料1の説明は以上になります。</p>
合田会長	何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。
詫間委員	意見番号4の“再生可能エネルギーによる「創」・「省」・「蓄」の推進”について、“蓄”が“畜”となっていますが、誤字ですか。
委託業者	誤字のため修正いたします。
合田会長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>他にご質問、ご意見等ありましたらお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>それでは次に移りたいと思います。</p> <p>続いて議案2号「三豊市第2次環境基本計画・三豊市第2次地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)」の説明をお願いします。</p>
委託業者	三豊市第2次環境基本計画及び三豊市第2次地球温暖化対策実行計

画(区域施策編)を統合した「三豊市の環境を育てる計画」について説明をさせていただきます。

ただし、本日の会議時間を考慮しまして、冊子全体ではなく、これまでの審議会で審議していない内容、あるいはこれまでの審議内容から大きく変更した箇所について、重点的に説明をさせていただきます。それでは、表紙から4ページめくっていただき、「第1章 計画の基本となる事項」から順次説明させていただきます。

ページの下側にはページ番号を記載しており、1ページ目につきましては、第2回環境審議会でお示した内容から大きくは変更されておられません。

続きまして、2ページについてですが、お手元にある冊子のタイトルが「三豊市の環境を育てる計画」としておりまして、その右側には三豊市第2次環境基本計画・三豊市第2次地球温暖化対策実行計画と付けております。これは、前回の環境審議会以降に事務局のほうで協議を重ねまして、これまで環境基本計画と地球温暖化対策実行計画については、別々に作成をしておりましたが、いずれの計画も市民や事業者に向けた内容が記載されていることや、あるいは今回同じ時期に改訂を行っていること、つきましては環境基本計画の環境目標の1つに、地球温暖化分野が含まれていることから、それぞれの計画を1冊にまとめて「三豊市の環境を育てる計画」というタイトルで公表することとしました。それに伴い、2ページ目の計画の役割、計画の位置付け及び計画の期間につきましては、以前お示したのから少し変更を行っている状況となっております。

また、今回第2次環境基本計画の中に、第2次地球温暖化対策実行計画(区域施策)を入れていますが、13から20ページが区域施策編の内容となっています。今後、冊子中の区域施策編の内容につきましては、記載箇所が分かるようにいたします。

続きまして、3ページは、以前の環境審議会でお示した内容から大きな変更はありません。

4ページ以降についてですが、この計画の考え方について整理をしております。

まず、4ページについてですが、環境基本計画の内容は、より良い未来を目指す世界共通の目標となっているSDGsとの関連性が強く、SDGsで求めている経済・社会・環境の3つの関係を、トレードオフの関係ではなく、いかに並び立たせるかという考え方が重要となっています。

具体的には、4ページの下段に簡単にまとめておりますが、ポイントとして3つ存在し、1つ目が1つの行動が複数の側面における利益を生み出す取り組みであること。2つ目が、あるべき将来の姿から逆算をして、今からやっておくべき取り組みであること。3つ目が、たくさんの方が参加して一緒になって、一丸になって行う取り組みであることとなっております、これらの考え方が本計画の1つ目の考え方となっております。

続いて5ページでございますが、計画の考え方の2つ目となります。昨年国が公表しました、第5次環境基本計画の中で、地域循環共生圏の創造という考え方が提唱されています。これは、地域の活力が最大限に発揮された状態を表しており、これまで見過ごされてきた、地域資源についても価値を見いだして磨き上げることが、地域循環共生圏の創造に向けた第一歩としています。これに寄与する取り組みを検討する際の考え方の1つとしております。

3つ目の計画の考え方は指標です。本計画では従来から、取り組みの効果を図るための指標として施策指標があります。それに加えてもう一つ、市民指標というのを追記しております。市民指標というのは、市民の環境に対する意識の変化を把握するための指標であり、市民アンケートの結果から設定しております。市民指標につきましては、環境施策は市民の生活や事業活動に直結しているものであり、本計画に基づいた取り組みの実施を通じて、市民や事業者の環境意識を向上させることも、計画の意義の1つであることから設定しております。「第1章 計画の基本となる事項」に関する説明は以上となります。

合田会長

第1章に関しまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか？

それでは次に移りたいと思います。

委託業者

それでは「第2章 望ましい環境像および環境目標」の説明をさせていただきます。

説明に当たって、資料2をご覧ください。資料2は、前回環境審議会のご質問でもございましたが、前回ご提示した資料に望ましい環境像に係る選定の視点を追記しております。

読み上げますと、望ましい環境像の選定の視点は3つございまして、1つ目が、市民や事業者が分かりやすい言葉であること。2つ目が、

三豊市の将来の環境づくりやまちづくりを表現している内容であること。3つ目が、市民と事業者、行政が一緒にという表現であることです。

この内容を含めまして、前回の環境審議会以降、事務局の方で会長、副会長も含めまして、3案からどれがいいのかについて検討した結果、案3「みんなで一緒に未来につなぐ美しい自然と快適な暮らしを大切にすまち みとよ」がいいのではないかということになり、案3を現在案として載せております。

冊子の7ページの下につきましては、案3に込められた思いを文章として整理をしております、「みんなで一緒に未来につなぐ」、「美しい自然と快適な暮らし」、「大切にすまち」のそれぞれの思いを文章として整理をしております。

続きまして、8ページにつきましては、前回の環境審議会資料の内容から大きく変化はございません。

第2章の説明は以上となります。

合田会長

第2章に関しまして、望ましい環境像のキャッチフレーズを含めて何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか？

それでは次に移りたいと思います。

委託業者

それでは「第3章 市の環境づくりの計画」の説明をさせていただきます。11ページと12ページの見開きのページには施策の体系図を示しており、これ以降につきましては具体的な取り組みの整理をしております。

先ほども申し上げたとおり、区域施策編の内容というのがこの体系図の一番上の「エネルギーを有効利用する地球に優しいまち」というところが該当しますので、今後その旨が分かるように記載する予定としております。

続きまして、13ページ目からが具体的な取り組みの内容となっております。

13ページ目以降についてですが、環境目標1ということで、「エネルギーを有効利用する地球に優しいまち」になります。13ページから20ページまでが、地球温暖化対策実行計画の区域施策編の該当箇所になります。

資料につきましては、事前に配布させていただいているということ

と、この環境目標は、あくまで行政としての視点というところを述べさせていただいていますので、時間の都合もございまして、抜粋して説明をさせていただこうと思っております。

また、先ほども申しましたが、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の中で計算しております温室効果ガス、その他もろもろの地球温暖化に対する世界、日本の状況といった資料につきましては、本計画への記載というのがなじまないということもございまして、別の資料として整理いたします。

それでは、これから環境目標 1、2、3、4 と説明が続きますが、委員の皆様には、各環境目標について、行政の視点として抜けている項目や取り組み、また、必要な取り組みがございましたら、ご意見をいただきたいと思いますと考えております。

それでは、13 ページについてですが、現状と施策の方向性というところで、今三豊市様は、地球温暖化対策実行計画に基づいて戦略的な地球温暖化対策のほうに取り組んでおります。今後も引き続き取り組むとともに、電気自動車の導入や公共施設の利用を図り、地球に優しい交通まちづくりを推進して、低炭素型のまちづくりに取り組んでいくこととします。

また近年、夏場の気温上昇というところが、トピックスとして上がってきておりますので、気温上昇に伴う熱中症や脱水症状の発症等、健康被害に対する対応についても、環境目標 1 の中に入れております。環境指標という表がございしますが、本計画を策定以後、順調に進んでいるかどうかというのを適宜モニタリングしていく必要がございます。そのための指標であり、温室効果ガス排出量、環境に優しいエネルギーの利用、地球温暖化の防止、コミュニティバスの利用者数・便数、耕作放棄地の面積を環境指標として掲げております。

このたびの計画につきましては、市民や事業者がわかりやすいように、14 ページのような豆知識コラムを設けております。14 ページでは、地球温暖化って何というところで、絵やイラストも入れて分かりやすい表現にまとめております。

続きまして 15 ページでございます。環境目標にひも付く主な取り組みとして、「温室効果ガスの発生抑制」としております。15 ページでは、その中でも“省エネルギーの推進”として、各取り組みを箇条書きで記載しております。

抜粋して説明させていただきますが、一般家庭、工場や事業所における有効な省エネ行動として、クールビズやウォームビズなどを周知啓

	<p>発して、省エネ行動を促進していく等を施策としています。</p> <p>続いて、16 ページにつきましては、“再生可能エネルギーによる「創」・「省」・「蓄」の推進”に関する取り組みを記載しております。</p> <p>青枠の部分につきましては、現在検討中であり、分かりやすい表現、図等を挿入する予定です。16 ページの一番下につきましては、カーボンニュートラルという考え方を整理しております。</p> <p>17 ページにつきましては、主な取り組みとして「低炭素型のまちづくりの推進」としてしております。その中の“地球に優しい交通まちづくりの推進”として、バスとか地域公共交通の利用の促進、電気自動車の拡大等がございます。次に、“吸収源対策の推進”として森林整備、保安林の適切な管理・保全を行い、森林の二酸化炭素吸収量を増やすこと。あとは適正な農地の管理というところを記載しております。</p> <p>続いて、18 ページにつきましては、豆知識コラムを追記予定であり、今回の計画で掲げます、温室効果ガス排出量の具体的な目標値や排出行動というのを追記する予定でございます。</p> <p>19 ページにつきましては、主な取り組みとして、「気候変動による影響への適応」を掲げ、“熱中症や感染症などの健康被害の防止”、それと近年、非常に被害が大きくなっております、“ゲリラ豪雨等に対する防災対策”について記載しております。</p> <p>20 ページにつきましては、気温が上昇することに伴った、米や果実といった“農作物に与える影響への対応”についてまとめております。また、豆知識コラムにも、気温上昇に伴う影響を記載する予定でございます。</p> <p>環境目標 1 の説明は以上となります。</p>
合田会長	<p>環境目標 1 に関しまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。</p>
細川委員	<p>13 ページの環境指標の表に“エネルギーの利用が 27%”、“地球温暖化の防止が 19%”とありますが、具体的にどういった数値なんでしょうか？</p>
委託業者	<p>環境指標の中で掲げております、環境に優しいエネルギーの利用と地球温暖化の防止の項目につきましては、アンケート調査を行った際に“満足している”、“やや満足している”という回答が得られた回答数の割合でございます。そのパーセンテージが、27%と 19%となっております。</p>

	ります。
細川委員	アンケート結果のパーセントですか？
委託業者	はい、その通りです。 表現を修正させていただいて、分かりやすいようにいたします。
細川委員	お願いします。
合田会長	他に何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。 誤字や言い回しも含めて気になったところございましたらお願いします。
大平委員	脱字があります。まず、第2章の扉絵の「紫雲出山の桜」の“出”が抜けています。また、最初の市長あいさつ部分ですが、本市の今後の環境像である、「みんなで…」の“で”が抜けています。
事務局	修正いたします。
平尾委員	さきほどの関係でもありますが、環境指標の中で4つの目標値は“向上を図る”となっていますが、満足度については具体的な数値を書けないため、今より向上を図るという記載で良いかなと思います。しかし、コミュニティバスの利用者数・便数とか、耕作放棄地面積とかです、その辺は、現状値は入っていませんが、現状値に対してどうするのでしょうか？ 具体的な数値を、書けるのであれば、書いたほうが良いと思いますが、その辺りはどうなのでしょう？
合田会長	この環境指標の基準値と目標値は各項で出てきており、44ページに全てがまとまっているため、その際に議論させていただいてもよろしいでしょうか？
平尾委員	わかりました。
合田会長	他に何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。 よろしいでしょうか？

それでは、私のほうから1つよろしいですかね？

前回は環境基本計画と区域施策編、それぞれ別冊で立派な計画ができていますが、今度は一緒にするということで、今説明があった13ページから20ページが、区域施策編に当たる部分という説明は、目次かどこかへまた記載していただくという説明がございました。

前回の区域施策編で2020年には2005年基準の14%、2030年には27%と削減目標を掲げており、それらの目標を踏まえた上で第2次の計画でないのかなと思います。そのため、豆知識コラムに記載するのではなく、本文で記載する必要があるのではないかなと思いますが、いかがでしょうか？

委託業者

14ページ辺りに、これまでの三豊市の取り組みというかたちを簡単にまとめて、数値的にどう変化しているかというのもお示しできればと考えております。

合田会長

前回の区域施策編の削減目標値がある中、現在第2次計画をつくっているわけですから、前回の区域施策編の経緯を引き継いで、13ページに書かれているような現状と施策の方向性が出てくるのではないのでしょうか？

それを温室効果ガス排出量の削減目標という、豆知識コラムとかではなく、本文で扱わないといけないのじゃないかなというのを申し上げたいんですけど。

委託業者

分かりました。検討します。

合田会長

お願いします。

他にご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは次に移りたいと思います。

委託業者

続きまして、環境目標2「資源が循環する環境負荷の少ないまち」ということで、21ページから26ページまでが、資源循環に関する取り組みを記載しております。

まず、21ページにつきましては、現状と施策の方向性を記載しております。簡単にまとめますと、三豊市のごみの総排出量は減少していますが、市民1人1日当たりのごみ排出量は、微増ではあるものの増加

傾向を示しています。そのため、3 Rの推進によるごみの発生抑制に取り組む必要があるという方向性を定めております。また、ごみのリサイクル率につきましては増加傾向を示しておりまして、これはバイオマス資源化センターみとよの稼働に伴ったものとなっております。バイオマス資源化センターみとよを建てる際、ごみは全て資源であるという理念の基、施設を整備しております。そのため、今後もこの理念を継続しながらリサイクルの活性化によって、資源循環型のまちづくりの構築に取り組む方向性を掲げております。

また、近年国内外ではプラスチックや食品ロスといった、新たなごみ問題も生じております。こういった新たな問題に対しても、最新の動向を把握した上で、市民や事業者に向けて適切な情報提供を行って、新たなごみ問題に対しても柔軟に対応できるまちづくりを方向性としております。

加えて、三豊市様では不法投棄の撲滅に向けてのパトロールや看板の設置を行っていますが、年間 500 件以上不法投棄があるような状況となっております。そのため、不法投棄対策の強化とともに、市民や事業者のごみを適正処理、適正に処分していく必要もございます。

続きまして、環境指標につきましては、ごみの削減に対する満足度、リサイクルに対する満足度は、市民に対して行ったアンケートの結果でございます。市民の皆さまが“満足である”もしくは“だいたい満足している”と答えられた方が、35%と 47%おられたので、当該結果の向上を図ることを目標としております。

もう一つの環境指標としましては、不法投棄の発見件数を掲げており、平成 30 年度では、不法投棄パトロールによって発見された不法投棄発見件数が 502 件ございます。目標値としましては令和 5 年度に 450 件と約 1 割の削減を目標として掲げております。

続きまして、22 ページから主な取り組みとなっております。まず、“3 Rの推進”を掲げ、リデュース、リユース、リサイクルの推進に係る施策を 24 ページまで記載しております。

こちらにつきましては、まず市民や事業者に対して、3 Rに関する正しい知識を、理解しやすく意識啓発するというような基本的なことなどを記載しております。

また、豆知識コラムには、バイオマス資源化センターみとよの施設紹介を市民の皆さまに分かりやすいように、記載しております。

続きまして 23、24 ページにつきましては、いろいろ施策を掲げておりますが、基本的にはSDGs の理念を踏まえ、多様な主体が参加す

ることを求めるような施策を掲げております。

施策につきましては、豆知識コラムにも記載していますプラスチックや食品ロスに関するものなどを記載しております。

プラスチックにつきましては、現在全世界的にもプラスチック問題が大きくなっておりまして、プラスチックが海洋に流出し、海洋の生態系を崩してしまっているという現状がございます。そういった現状を踏まえて、プラスチック・スマートという考え方を発信していく旨を記載しております。プラスチック・スマートとは、環境省が掲げているプラスチックを賢く使っていくことです。例えば、マイバッグ運動・簡易包装・地球に優しいプラスチックであるバイオプラスチックの活用等がございます。

食品ロスにつきましては、こちらも豆知識コラムには掲げております。食品ロスは近年注目されている問題であり、SDGsの中でも、謳われています。そのため、食品ロスとはまず何か。食品ロスを削減するためにはどういった取り組みがあるかというものをまとめております。

続きまして、25～26 ページについてですが、「廃棄物の適正処理、処分」に関する施策を掲げております。現在、三豊市様が公表されています“ごみの分別の手引き”や“ごみ収集カレンダー”の住民周知等について記載しております。

26 ページには“不法投棄対策”ということで、不法投棄に関する施策を掲げております。豆知識コラムには、不法投棄はやめましょうというタイトルで、不法投棄の禁止の呼びかけを行っています。図につきましては、今後追記する予定となっております。

環境目標 2 の説明は以上となります。

合田会長

環境目標 2 に関しまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

大平委員

23 ページに、“市内イベントの一環としてリユースショップの開催など、モノの再利用（リユース）を促進します。”とありますが、リサイクルは入るのでしょうか？

委託業者

この施策の目的は、例えば要らなくなった子ども服等をそのまま捨ててしまうのではなくて、売るもしくは譲渡するというような再利用の促進としております。もちろん、中にはそういったリサイクルに関す

	るニュアンスも含まれてはいます。
大平委員	リサイクルも一緒に書いておいたほうがいいのではないかなと思っています。
委託業者	モノの再利用・再生利用などといった、記載にいたします。
大平委員	はい。
平尾委員	<p>26 ページの廃棄物の適正処理・処分の取り組みの中の柱として、不法投棄対策というところが挙がっており、当然不法投棄対策は必要だと思いますが、それと同時に最近、野外焼却の関係もかなり苦情があったり、問題があったりするのではないかと思います。そのため、野外焼却対策も不法投棄対策と合わせて入れたほうがいいのではないかと思います。それと連動して 21 ページの環境指標について、後で全体的な話をされると思いますが、不法投棄発見件数が指標として挙がっていますが、発見件数イコール実際に不法投棄された件数かどうかというところが、必ずしもイコールではないと思います。</p> <p>要は、不法投棄が増えていても、一生懸命パトロールなどをしなくて不法投棄が発見出来なかったら、発見件数は減りますよね。その辺りがきちんと反映されているのでしょうか？例えば、先ほどの野外焼却等と合わせた不適正処理についての苦情件数などを指標にすれば、状況を反映しているのかなと思います。苦情が減ればそれだけ減少できているということになるのかなと思います。</p> <p>また、環境指標のところでは、ごみの削減とリサイクルについて満足度としていますが、これは前の計画ではごみの排出量及びリサイクル率といった、具体的な数値であったかと思います。満足度になっているのは、一般廃棄物の処理計画との整合性とかがあると思うんですが、もう目標を達成しているからということですかね？</p>
委託業者	先ほどおっしゃられたとおり、ごみの総排出量やリサイクル率が前の計画では掲げられていますが、これは三豊市ごみ処理一般廃棄物基本計画に基づいた数値となっております。現在、バイオマス資源化センターみとよが稼働したことに伴い、その計画で掲げているリサイクル率を達成しております。また、総排出量につきましても、ほぼほぼ達成している状況でございますので、この数値を掲げても、すでに現状

	<p>超えてしまっているという状況になっております。</p> <p>また、三豊市ごみ処理一般廃棄物基本計画は、来年度が改定予定であるため、今、本計画で数値目標を掲げてしまいますと数値の整合性に問題が生じる可能性がございます。そのため、具体的な数値目標は掲げておりません。</p>
平尾委員	分かりました。
合田会長	野外焼却の件は。
委託業者	<p>野外焼却につきましては、この後の市民に求められる取り組みには記載されていますが、ご指摘のとおり、行政の施策には入っておりませんので、事務局のほうで調整させていただきたいと思います。</p> <p>もう1件、環境指標として苦情件数はどうかという話もありましたが、環境目標3に、野外焼却等も含めた公害苦情件数というのを、数値目標として入れております。そのため、今後事務局のほうで調整させていただきたいと思います。</p>
合田会長	他はございますか？
藤川 猛委員	<p>今の野外焼却につきましては、農地の放棄地を整備する際に草刈りを行い、草刈りを行った雑草類の焼却を行いますが、農地の放棄地が増えているため、燃やす雑草類の量も同様に増えております。それに伴う野外焼却に係る苦情が発生していると思います。</p> <p>一般家庭の野外焼却、ごみ焼却というのは、既にゼロに等しいのが現状です。そこら辺は十分頭に入れた上で処理してほしいと思います。</p>
事務局	はい。
合田会長	<p>先ほどの野外焼却につきましては、38 ページで説明があると思いますが、野外焼却をやめましょうという市民の目標となっています。そのため、行政の施策につきましては、事務局とまた相談させてもらって、記述方法も検討したいということによろしいですかね？</p> <p>他ございますか？</p>
詫間委員	先ほどの藤川委員さんのご指摘とまったく同じことですが、耕作放棄

地面積を減らすということと、草刈り後の野外焼却は整合性が相反するところになっています。そのため、家庭ごみを燃やすというのが野外焼却禁止の根源的な部分だと思いますので、そこら辺を上手にうたってあげないと、耕作放棄地を少なくしてごみを捨てる場所を削減していこうというような意図と、本来的な耕作放棄地を削減することによる農業を再生するということが、うまく持続可能な地域づくりにつながっていかないと思います。その辺りをもう一度ご検討いただきたいなと思っております。

合田会長

今の 38 ページの下の注意書きのところの、今おっしゃったように稲わらのように廃棄物の焼却の例外規定であったとしても、苦情が出ています。そこをうまく行政がする必要があるというお話ですね。それでは、他にご質問・ご意見等ないようでしたら次に移りたいと思いますがよろしいでしょうか？

委託業者

続きまして、27 ページから環境目標 3「安心・安全・快適で、水と緑に囲まれた魅力あるまち」ということで、主に生活環境や生物の多様性、地域資源、歴史文化、緑化といったものを主軸として扱っております。

現状の施策と方向性というのもここに 5 つほどまとめておりますが、水質改善、生活の中のさまざまな健康への影響の防止と低減、生活環境の保全、生物多様性の確保、市内の文化遺産や景観資源を保全することなどなどを記載しております。

その下、環境指標につきましては、まず 1 つ目が大気汚染に係る環境基準の達成率、汚水処理人口の普及率、騒音に対する満足度、この辺りを掲げさせていただいております。

その隣、28 ページからが具体的な取り組みということで、まず「快適な生活環境の確保」の 1 つ目“大気、悪臭、土壤環境の保全”ということで、取り上げられるものとしましては、2 つ目の丸印の香川県の情報発信システムや SNS を活用し、光化学オキシダントや PM2.5 に関する注意報の周知を図り、市民や事業者などの健康被害の防止に努めますというのを掲げさせていただいております。

2 つ目の“騒音・振動対策”につきましては、沿道における騒音調査などとともに、工場や事業場の規制指導などによる生活環境の保全を図ります。

3 つ目の“化学物質の発生抑制”につきましては、化学物質の排出量

や移動量の把握とともに、事業者に対する化学物質の自主的管理を促進し、市民や事業者の健康被害を防止しますというのを掲げさせていただいております。

続きまして 29 ページでございますが、4 つ目の“水環境の保全”ということで、本市の水質汚染状況を監視するとともに、合併浄化槽への転換や集落廃水への接続の促進、廃水処理設備の適正管理の推進、公害防止協定の締結など、公共用水域の水質を保全しますというのを掲げさせていただいております。

その下、豆知識コラムとしましては、今述べました、合併浄化槽って何というところを分かりやすく説明をして、なおかつ三豊市様が設置補助を行っていますというの、記載をさせていただいております。続いて 30 ページになりまして、ここからが「生物多様性の確保」ということで、1 つ目は“生態系の保全”ということで河川や森林、旅行などの開発整備に当たっては、既存の自然に配慮するとともに、水辺の自然を保全創出し、エコロジカルネットワークづくりを推進します。などを掲げさせていただいております。

2 つ目は“希少動植物の保全”ということで、2 つ目の丸印になりますが、鳥獣保護区や特定狩猟区域の維持や、希少な野生動植物の生息状況の把握など、市内の希少動植物の保護に取り組みます。

3 つ目は“外来種等への対策”ということで、外来生物に関する情報発信により市民や事業者の健康被害を防止します。その下、豆知識コラムとしましては、市内で過去に確認されたことのある、セアカゴケグモ、その隣、ナルトサワギクと書いてありますが、これはオオキンケイギクの間違いです。修正いたします。こういった外来生物がいまでするので注意してくださいというのを記載させていただいております。続きまして、31 ページ目につきましては、「地域資源の「質」の確保」ということで、まず 1 つ目“里地・里山・里海の保全”ということで、上から 2 つ目の丸印になりますが、放置竹林の整備や間伐とともに、それら竹材のチップ化や建材成形加工など、市内外における竹資源の活用を検討しますということで、現状使われていないものを、資源としてまた使っていくというのを掲げさせていただいております。

下から 2 つ目の丸印、市民や事業者と連携した海岸清掃活動の実施とともに、海洋環境を学ぶ場の提供、マイクロプラスチックなど、新たな国際的課題の情報収集により、海岸漂着物のごみを抑制し里海の保全をします。こういったものを掲げさせていただいております。

続きまして、32 ページになりますが、2 つ目の“市の歴史・文化の保

	<p>全”ということで、2つ目の丸印、関係機関との連携、SNSや動画投稿サイトを用いたPRとともに、観光アドバイザー派遣を通じた地域資源の発掘や、史跡ボランティアの育成などにより、市内観光の魅力向上やコンテンツの拡充を図ります。などを掲げております。</p> <p>3つ目の“緑化の推進”についてですが、家庭や事業者における植栽の適正管理の促進とともに、緑のカーテンコンテストで育てたゴーヤーやホップなどの利活用の検討により、緑化の活性化を推進します。</p> <p>4つ目の“景観の保全”ということで、市内の風致地区における眺望景観に大きな影響を与える可能性のある、大規模開発行為に対する規制指導、香川県条例に基づいた屋外広告物の規制により、三豊市らしい田園風景、自然風景を保全します、とさせていただいております。環境目標3の説明は以上となります。</p>
合田会長	環境目標3に関しまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。
細川委員	30ページの豆知識コラムについて、“気を付けて危険な外来生物”というふうに、危険と記載されています。セアカゴケグモにつきましてはそのとおりですが、オオキンケイギクというのは繁殖力が高いので、人間に危険があるのかというのは、どうなのでしょう？
委託業者	当初ナルトサワギクを想定しており、それが有毒だったので危険と入れていましたが、ナルトサワギク自体が三豊市に生息していないということだったので、変更しました。危険というのは確かに当てはまらないので、表現を変えさせていただきます。
合田会長	28ページの注釈で本文は光化学オキシダントになっていますが、下の脚注は光化学スモッグとなっていますので、脚注を光化学オキシダントに変えたらいいと思います。
委託業者	修正します。
合田会長	難しい単語の注釈が下に付いて非常に見やすいのですが、用語集は後ろにもまとめるのでしょうか？
事務局	まとめます。

合田会長	用語集の中には、下の注釈のものも入るのでしょうか？
事務局	はい、そのとおりです。
合田会長	<p>他、何かございますか？</p> <p>31 ページのイメージ図は、地産地消のイメージ図を記載しているのでしょうか。</p>
事務局	はい、そのとおりです。
合田会長	分かりました。他に何かございますか？
詫間委員	<p>31 ページの上から 2 番目の丸印について、放置竹林の整備と間伐とともに竹材のチップ化や建材成形加工など、竹資源の活用を検討しますとありますが、これまでずっと三豊市としても取り組んできているテーマとなっております。これらは実現可能性があるのかどうかということも含めて、地域のことや技術的なことについていかがでしょうか？</p> <p>ここに項目として入れるということについての意見をお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>建材、竹材のチップ化というのは実際に行っており、田んぼに竹チップを入れると収穫高が増えたというふうなことも言われております。ただし、費用がかかるということで、広がっていくというのはなかなか難しいかと思いますが、いい結果が出ているというのは、実際にされている方からはお聞きしております。</p> <p>建材につきましても、市内の工場のほうで検討して、建材化しているというのはありますので、現在、竹が繁茂している状況を改善するためには、こういうことを検討していくというのは引き続き必要かなということで、ここに入れさせていただけたらと思っております。</p>
詫間委員	分かりました。
藤川 猛委員	29 ページの合併浄化槽について、三豊市では合併浄化槽設置費用の一部を補助しています、ではなくて、浄化槽設置を推進しています。に修正すべきではないでしょうか。

合田会長	合併浄化槽の転換促進というのは、文章で記載されています。また、費用を一部補助しますという文章も記載されています。
岩田委員	先ほどの竹のことですが、竹の資源活用ということで検討しますと。これは従来ずっと言われてきたことであり、進展が見られません。そのため、少なくとも文言だけでも変えていただけないでしょうか。
合田会長	事務局、よろしいでしょうか？ 字句を同じようなことでは、現状にマッチしていないというご意見です。
事務局	はい。委員皆様のご意見を賜りましたので考えさせていただきます。
合田会長	他、何かありますか？ なければ次の環境目標４の説明をお願いいたします。
事務局	<p>続きまして、33 ページからは、環境目標４「一人一人が学び体験し行動するまち」となっております。こちらにつきましても現状と施策の方向性というのをまとめておりまして、2つ目の四角印以降になりますが、市民や事業者が分かりやすい環境情報の発信や、環境学習機会の提供などにより、環境意識の高い市民と事業者をつくり上げる、環境都市三豊の実現に取り組みます。あるいはその下、市民や事業者、行政の定期的な交流機会の創出に取り組みますということ、方向性として挙げさせていただいております。</p> <p>環境指標としましては、三豊市の環境白書に関する認知度、あるいは公害苦情件数、環境保全活動に関する満足度というのをそれぞれ挙げさせていただいております。</p> <p>具体的な取り組みとしましては、34、35 ページに記載しております。34 ページの「環境意識の醸成」につきましては、まず“環境情報の発信”ということで2つ目の丸印、環境に関するポスターやパンフレットの掲示、市内イベントでの環境配慮行動の紹介、広報誌やホームページ、SNS、メールマガジンなどのあらゆる媒体を通じた、定期的な環境情報を発信します、などを挙げさせていただいております。</p> <p>続きまして、“環境学習、環境教育の推進”ということで、リサイクル体験や環境体験講座を拡充するとともに、学外講師の活用や環境出前講座の実施などにより、地域でリーダーやアドバイザーとして活躍</p>

	<p>できる人材を育成します。などを挙げさせていただいております。</p> <p>続いて 35 ページについてですが、「環境コミュニケーションの構築」ということで、まず 1 つ目の“環境に関する交流の推進”は、県や事業者との協働による森づくりや、本市の自然を活用した有料施設の誘致などにより、自然の魅力を発揮した環境と触れ合える拠点づくりを推進します。を掲げております。</p> <p>2 つ目の「環境保全活動の推進」ということで市民や事業者、行政などの交流機会を設けることにより、市内外の環境情報の収集や各主体のマッチングなどにより、環境保全に関するコミュニケーションの活性化を図りますというところを挙げさせていただいております。</p> <p>その下、豆知識コラムとしては、協働に関する説明を記載しております。</p> <p>環境目標 4 の説明は以上となります。</p>
合田会長	環境目標 4 に関しまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。
岩田委員	少し内容と合うかは分かりませんが、35 ページの“環境に関する交流の推進”というのは、例えばフォレストマッチングとか、具体的な例の記載は難しいのでしょうか。
委託業者	今おっしゃられたフォレストマッチングは、特定の事業者名が入る恐れがありますので、記載は難しいかなと思っています。
岩田委員	企業名は出さなくていいと思いますが、そういった取り組みを実施している会社は何社かあるのでしょうか？
事務局	ございますね。載せられる範囲で検討してみます。
合田会長	<p>他、何かありますか？</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>それでは続いて、第 4 章に移らせていただきます。</p>
委託業者	それでは「第 4 章 市民や事業者で求められる取り組み」についてご説明させていただきます。1 つ前の第 3 章が行政の取り組みであったのに対して、ここの第 4 章というのが、市民や事業者に求められる取

委託業者

り組みを整理しております。これは市民や事業者が、自身の取り組みが見やすいようにということで、章分けさせていただいております。それでは 37 ページのほうからご説明させていただきます。

37、38 ページにつきましては、市民の皆様が日ごろの生活の中で取り組める行動ということで、市民の方に分かりやすく伝えるために、イラストを付けながら説明させていただいております。

まず、「環境目標 1 エネルギーを有効利用する地球に優しいまち」に関する取り組みとしまして、節電や太陽光発電の利用促進を掲げています。また、コミュニティバスなどの公共機関を利用しましょうということも掲げております。

次に、「環境目標 2 資源が循環する環境負荷の少ないまち」に関する取り組みとしまして、ルールに従ったごみの分別やマイバッグ・マイボトル・マイ箸の持参、不要となったものはお店で売るもしくは人への譲渡を行うなど、ものの再使用とか再生利用に取り組むというようなことを掲げております。

次に、「環境目標 3 安心・安全・快適で、水と緑に囲まれた魅力あるまち」に関する取り組みとしまして、単独浄化槽から合併浄化槽へ変換、身近な自然や環境について興味を持っていただいて、有害な生物や貴重な生物に関する知識を深めること、一部の例外を除いた屋外での焼却の禁止などについて掲げております。

次に、「環境目標 4 一人一人が学び、体験し、行動するまち」に関する取り組みとしまして、環境に優しいライフスタイルの実践、環境学習会や市内で実施されている環境保全活動への参加、事業者や行政との交流を図れる場を活用した意見交換や事業者と行政との連携に取り組んでいきましょうなどといったことについて掲げております。市民の取り組める行動の説明は以上となります。

委託業者

続きまして、39、40 ページにつきましては、対象が事業者の方になります。「環境目標 1 エネルギーを有効利用する地球に優しいまち」の中では、職場での室温の適正化、クールビズやウォームビズの実践、また、事務所での機器を買い換える際は、省エネ効率の良いものの購入、昼休み等の小まめな消灯、人感センサーの導入等をした積極的な節電などこういったものを環境目標 1 の具体的な取り組める行動として記載しております。

「環境目標 2 資源が循環する環境負荷の少ないまち」ということ

で、事業活動に伴って発生するごみの処理は、自ら責任を持って適正に処理を行いましょうというところ。また、簡易包装や詰め替え製品の販売、開発に取り組んでいきましょう。などといった取り組みを、環境目標 2 の中で掲げております。

続きまして、40 ページの「環境目標 3 安心・安全・快適で、水と緑に囲まれた魅力あるまち」ということで、事業者に求められる取り組みとしましては、環境基準などを順守し、大気質や水質の保全に努めましょう。また、建設工事を行うときには騒音や振動を減らして、工事現場周辺の生活環境に配慮しましょうといったことを掲げております。

「環境目標 4 一人一人が学び、体験し、行動するまち」でございますが、こちらのほうではホームページや工場見学等を通じて、自社の環境配慮に関する情報発信をしましょう。また、市民のほうでも出てきておりますが、市民や行政との交流を図れる場を活用して、意見交換や市民と行政との連携に取り組んでいきましょうなどというところを、取り組める行動として記載しております。

事業者の取り組める行動の説明は以上となります。

合田会長

第 4 章に関しまして、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

藤川 豊明委員

37 ページの COOL CHOICE (クール・チョイス)・HEMS (ヘムス) という 2 つ単語が出てくるんですけど、一般市民の方でこの 2 つの言葉は初めて聞く人が多いと思いますので、注釈を付けていただければと思います。

委託業者

はい、分かりました。

細川委員

最後の文章が「やめましょ」になっています。

合田会長

“う”がないので、修正をお願いします。

この第 4 章は市民向け、業者向けにイラストを付けてこういうことを守りましょう、こういうことをしましょうということについて整理しています。

それでは続いて、第 5 章の説明をお願いします。

委託業者	<p>それでは「第5章 計画の推進」についてご説明いたします。43 ページをご覧ください。ページの上側の図には、本計画の推進体制を示しておりまして、計画の策定を行っている三豊市様を真ん中に、市長からの指示により事務局である市民環境部が町内関係各課に、本計画に基づいた取り組みの実施状況や数値指標について確認及び報告を行うことになっています。</p> <p>そして、その内容については三豊市様から三豊市環境審議会において報告をした上で年次報告書、いわゆる三豊市環境白書として取りまとめを行った上で、市民や事業者などに公表を行うという体制になっております。もちろん、環境審議会の中で環境施策に関する意見が出てきた場合には、次年度以降の取り組みにも反映を行うということと記載をさせていただいております。この流れが簡単な進捗管理の流れになって来ますが、先ほども第3章でも出てきましたが、本計画で定めている数値指標、いわゆる施策指標と市民指標というのが、隣の44ページに整理しております。</p> <p>一部無記載部分や先ほど意見としてありました、向上を図るという記載にとどまっているものもありますが、こちらにつきましては、当然、市民環境部様以外の部局様との調整が必要な事項であり、現在詳細を詰めている状況となっております。</p> <p>もちろん、ここに並んでいる指標以外にも、もしかしたら追加となる指標も出てくる可能性があるという状況となっております。</p> <p>第5章の説明は以上となります。</p>
合田会長	<p>44 ページは、各環境目標の環境指標をすべて整理しています。目標値がある項目、向上を上回ると記載している項目、市民アンケートの満足度としている項目がありますので、皆様のご意見をお聞きしたいです。それから、もっとこういうことを項目、環境指標として入れたらどうだろうかという意見も出していただけたらと思います。</p> <p>つきましては、アンケートの結果による市民指標はどれでしょうか。</p>
委託業者	<p>市民指標につきましては、「環境に優しいエネルギーの利用」、「地球温暖化の防止」、「ごみの削減に対する満足度」、「リサイクルに対する満足度」、「騒音に対する満足度」、「三豊市環境白書に関する認知度」となっております。</p>
合田会長	<p>はい。だいたい目標は、満足度の向上を図るというような記述にな</p>

	っているのでしょうか？
委託業者	はい。
合田会長	三豊市の環境白書の認知度については、５％から目標１０％になっていますが、これだけ統一性がないかと思います。
委託業者	“向上を図る”に修正いたします。
合田会長	この基準値の満足度の指標はアンケートの結果ですから、行政がPR不足であるというような位置付けにもなりますよね。 そのため、これから更にPRして、次回アンケート時では、この数字がぐっと上がったなら、周知が十分できたのではないかというようなことになるのではないのでしょうか。
委託業者	もちろんPRもありますが、環境に意識を持ってもらうということが重要なので、取り組みと合わせていくことが重要になると思っています。
詫間委員	確認させていただきたいのですが、この耕作放棄地面積は面積の削減ですよね？ これは自然の景観のことや不法投棄を削減すること、地域内の循環といういろいろな取り方はあると思いますが、環境という位置づけからすると何を意図として環境指標としたのでしょうか？
委託業者	耕作放棄地の面積の減少というのは、農地の適正化ということになります。温室効果ガスの削減の観点からいいますと、耕作放棄地を放置しておくよりも、適正に農地を活用すれば、吸収源が高くなりますので、そういう意味でこの目標値を掲げさせていただいています。
詫間委員	それならば、先ほど藤川委員さんから意見がありましたが、耕作放棄地を解消しようとする際にどうしても野焼きが発生し、それが環境問題につながるというような話がありますので、三豊市としても耕作放棄地を削減していこうとする目標があるのであれば、野焼きに加えて大気汚染も削減するような合わせ技を行政として掲げておかないと、推進しにくいのではないかなと、私は思います。

	<p>そのときに、先ほども堆肥化というお話があったので、それを例えば三豊市の持っているトンネルコンポストであったり、そういう技術と合わせて堆肥化する方法はないのかなと考えますので、その辺の見解はどうなんでしょうかね？</p>
事務局	<p>耕作放棄地で刈った草などの処分方法は燃やすだけではなくて、三豊市内にも剪定枝、木や草を堆肥化する三豊市が許可している民間事業者が4業者ほどありますので、そちらのほうへ持っていっていただければ堆肥化が可能となっております。例えば、シルバーが草木を刈った際にはそちらのほうで処分しているというふうな現状があります。そのため、そのあたりの取り組みをPRして、そういう方向で処理していただくようにしていくべきなのかなと思います。</p>
詫間委員	<p>今現状、それは費用が発生するのでしょうか？</p>
事務局	<p>費用が発生します。</p>
詫間委員	<p>そこをうまく展開していかなければ、この目標もなかなか難しいかなと思います。</p> <p>数値の話とは少し異なりますが、このあたりを達成しようとするならばそういうことも含めて、施策として要るんじゃないかなと思います。</p>
合田会長	<p>耕作放棄地に係る問題は堀江委員さんが農業委員会の会長をされていますので、この環境審議会は農業政策のうんぬんというよりも、環境の立場から削減することによって、緑とかを守るというような観点ですから、何かご意見ございますか？</p>
岩田委員	<p>今の耕作放棄地の関係につきまして、田んぼがありますよね？</p> <p>そこはやはり将来的には、いろいろご意見あると思いますが、都市計画による区分けが将来的には必要になるのではないかなと思います。</p> <p>田んぼと住宅のところをしないと、今ずっと意見が出されたようなことが出てくると思います。ただ、自分の土地であるのに、家の建設が出来ないことなど、そういった問題も出てくると思いますが、そのような都市計画をつくっていく必要があるのではないかなと思います。</p> <p>それが今求められているような感じはします。</p>

合田会長	堀江委員さん、何かありますか？
堀江委員	<p>耕作放棄地の問題は本当に大きな問題となっており、三豊市だけが抱えている問題ではないと思いますが、三豊市も、県下でも耕作放棄地の面積が極端に増えている現状となっています。</p> <p>それらのほとんどが山手からとなっています。また、農地の中にも畑と水田の両方がありますが、耕作放棄地が増加しているのは畑となっており、高齢化した果物農家が多い傾向となっています。</p> <p>また、水田につきましても、基盤整備している場所は活用されていますが、山間でない場所が多く、毎年想像をはるかに超えるような面積が耕作放棄地になってきております。ここ５年間の実績を見れば、香川県でも2,000ヘクタールが耕作放棄地となっています。</p> <p>このままでは高齢化とともに、農業の担い手がいらないというような、どこの産業にも共通した問題かとは思いますが、危機的な状況となっています。そのため、地域を挙げて農業の担い手を探していく必要があります。</p> <p>このように、耕作放棄地の問題は、何とかして解消しなければいけません、極めて難題となっています。</p>
合田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局、今の堀江委員さんのお話があったんですが、ここの数値をどういう指標にするかを含めて、農林水産課サイドと十分調整して頂きたいです。</p>
藤川 猛委員	竹林もですね。
合田会長	一緒ですね。おっしゃるとおりです。
事務局	そちらの部局のほうとも協議させていただきまして、どういう入れ方がいいのかというのを検討していきたいと思います。
合田会長	44ページの指標について、特に大気とか汚水、騒音の指標ですけど、本計画は市の計画で市に関係があるということですので、悪臭の指標や水質の指標をここに加えてもらったらと思います。
岩田委員	議会でも質問が出ていましたね。

合田会長	<p>ええ。</p> <p>他、第5章に関しまして、何かご要望なりご意見ございますか？</p> <p>全体を通して、言い忘れたことなどはございますか？</p> <p>それでは、事務局、今後の予定としてはどういう予定になるのでしょうか？</p>
事務局	<p>本計画はパブリックコメントをする予定にしております。これは市の重要な計画等を策定する際には、その趣旨や目的、内容などを広く公表し、市民などから意見や情報を提供していただくことを目的としています。</p> <p>それを参考にして市で決定をしていくという流れになっておりますので、この第2次環境基本計画と第2次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）につきましては、本日の冊子に修正を加えたものを素案としてパブリックコメントを募集したいと考えております。</p> <p>期間につきましては、令和2年1月14日から令和2年2月14日までの1ヶ月間を予定しております。公表方法は、計画素案のデータをホームページに掲載し、環境衛生課でも閲覧ができるようにします。また、パブリックコメントの期間については、広報でも載せて周知をします。</p>
岩田委員	<p>広報は2月号ですか？</p>
事務局	<p>1月号です。</p>
岩田委員	<p>間に合うのでしょうか？</p>
事務局	<p>はい。1月号に載せる内容は、パブリックコメントの実施通知や期間のみを載せるので、詳細についてはホームページもしくは環境衛生課の窓口へ来て見ていただくような形になります。</p>
岩田委員	<p>掲載の手続きは行っているのでしょうか？</p>
事務局	<p>はい。</p>
藤川 猛委員	<p>30 ページの花の写真について、セイタカアワダチソウのほうに適しているのではないのでしょうか。</p>

合田会長	先ほどの藤川委員の意見や今日いただいた意見を踏まえて、計画の訂正・修正加筆して、パブリックコメントの素案として出してください。
事務局	本日、委員の皆様から頂いた意見につきましては、修正できるものは修正させていただきます。ただし、ホームページへの掲載が1月14日からということで、時間が限られています。そのため、皆様から頂いた意見につきましては、修正できるものは修正を行いまして、事務局と会長、副会長にて協議を行い、許可を頂いてから、ホームページに掲載させていただく形ということで、その辺りを委員の皆様には了承いただけたらと思いますが、どうでしょうか？
合田会長	今、事務局から要望のありました時間的に限られているため、本日の意見を踏まえた修正版につきましては、会長、副会長と事務局で一任させていただき、ホームページでの公表とさせて頂きたいと思いますがよろしいでしょうか？
各委員	異議なし。
合田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、全体を通して特にないでしょうか？</p> <p>また何かありましたら事務局のほうに伝えて頂けたらと思います。</p> <p>本日の議題は全て終了しました。</p> <p>内容の確認を行いますが、第1号の議案は前回の意見対応結果です。第2号の計画素案につきましては、先ほど申し上げましたように、修正したものを事務局と会長、副会長で確認してパブリックコメントに処するというので、次回はパブリックコメントが終わって意見が出て、返事をする前にするのでしょうか？</p> <p>もしくはパブリックコメントの意見に対する返事も次の委員会にかけるのでしょうか？</p>
委託業者	<p>今回の環境審議会につきましては、パブリックコメントでいただいた意見、どれぐらい出るか分かりませんが、これを受けてどこを修正したかというところを、返答とともにお見せするという形になります。</p> <p>それについて審議をしていただくことを予定しております。</p>
合田会長	分かりました。

副会長

だいたい何月ぐらいでしょうか？

事務局

次の第5回環境審議会につきましては、2月の下旬を予定しております。

合田会長

わかりました。


本日の会は以上をもって終了とさせていただきます。

冒頭に言いましたが、年末でお忙しい中ではございましたが、今年最後の審議会ということで委員の皆様、大変お疲れさまでございました。


また今年は4月から環境審議会を実施してきましたが、4回目になります。先ほどもありましたように、5回目は最後になりますが、2月の下旬ということですので、またよろしく願いしたいと思います。

年末ですので、皆さんよいお年をお迎えください。ありがとうございました。

会 長

合田 順一 

署名委員

新 延 修 

署名委員

佐 子 照 雄 

